



## 平成30年1月 マンスリー レポート

集計企業数 55 社

## ① 売上高・前年同月比

	全 店			既 存 店	
	売上高	構成比(前月)	前年同月比(前月)	売上高	前年同月比(前月)
総 額	57,178,621 万円	100.0%	102.5% (102.6%)	55,345,696 万円	100.8% (101.0%)
食 料 品	48,002,909 万円	84.0% (83.7%)	103.1% (102.9%)	46,505,264 万円	101.3% (101.2%)
農 産	7,499,892 万円	13.1% (12.3%)	107.4% (105.4%)	7,270,084 万円	105.6% (103.7%)
水 産	4,622,922 万円	8.1% (8.7%)	101.4% (102.2%)	4,481,382 万円	99.7% (100.4%)
畜 産	6,275,046 万円	11.0% (10.7%)	103.0% (104.3%)	6,071,574 万円	101.1% (102.4%)
惣 菜	5,601,466 万円	9.8% (9.6%)	103.6% (103.1%)	5,384,075 万円	101.5% (101.0%)
日配食品	10,576,904 万円	18.5% (18.1%)	102.1% (102.2%)	10,256,049 万円	100.5% (100.5%)
加工食品	13,426,679 万円	23.5% (24.3%)	101.8% (101.8%)	13,042,100 万円	100.2% (100.3%)
生活関連	3,793,237 万円	6.6% (6.8%)	100.8% (101.3%)	3,709,312 万円	99.9% (100.3%)
衣 料 品	1,831,886 万円	3.2% (3.0%)	98.5% (100.9%)	1,793,942 万円	98.5% (101.1%)
そ の 他	3,550,590 万円	6.2% (6.5%)	99.1% (100.9%)	3,337,178 万円	96.7% (99.2%)

## ② 数 値

全店総売上高	57,178,621 万円	店 舗 数	4,704 店舗
総売場面積	9,470,678.1 m <sup>2</sup>	総従業員数	254,892 人

店舗平均月商	12,155.3 万円	平均客単価 (前年同月比)	1,968.2 円 (98.3%)
月間m <sup>2</sup> 売上(前月)	6.0 万円 (7.0 万円)	平均店舗面積	2,013.3 m <sup>2</sup>
月間坪売上(前月)	20.0 万円 (23.3 万円)	パート比率(前月)	78.5% (78.2%)

注) 総従業員数…パート・アルバイト数は、8時間換算しています

## 《 全体概況 》

- ・ 1月の天候は、強い寒気の影響により、東・西日本を中心に気温が低かった。また、東・西日本の日本海側では降雪量が多く、下旬には北・東日本の太平洋側で大雪となった
  - ・ 降雪や低気温は、客足が遠のく要因となった
  - ・ 生鮮品の相場状況は、農産が引き続き野菜・果実ともに高値で推移した。中でも野菜では特に「レタス」「キャベツ」「ほうれんそう」や「だいこん」などの葉物野菜や大型野菜の相場が高く、果実では旬の「みかん」の相場が高かった
- 水産物においては市場への入荷量が少ないため高値が続き、畜産物においては国産の「豚肉」と「鶏むね肉」の高値が続いている

## 《 商品動向 》

### ○ 農産

- ・ 売上は全般的に好調な中、特に「カット野菜」や「もやし」が好調であった
- ・ 全国的に寒い日が続いたため「はくさい」「ねぎ」「菌茸類」などの鍋野菜が好調であった
- ・ 「じゃがいも」は相場安による販売価格の下落により、売上が不調であった
- ・ 果実は旬の「いちご」が好調だった一方、「みかん」「雑かん」は好不調が分かれた

### ○ 水産

- ・ 水産の既存店売上高は再び前年を下回った
- ・ 前年はノロウイルス検出の影響により不調となった「生かき」であったが、本年はその裏年に当たり、好調であった
- ・ 旬の「ぶり」は好不調が分かれる結果であった

### ○ 畜産

- ・ 和牛や国産の豚肉が相場高のため、国産牛や輸入牛、輸入豚を強化する取り組みが多く見られた
- ・ 鶏肉は概ね好調であった

### ○ 惣菜

- ・ 野菜価格の高騰により、「サラダ」や「冷惣菜」、「和惣菜」が好調であった
- ・ 「弁当」や「寿司」などの米飯類は概ね好調であった
- ・ 「とんかつ」や「フライ」などの揚げ物が好調であった

○ 日配・加工食品

- ・ 野菜価格の高騰により「冷凍野菜」や「漬物」、「野菜飲料」が好調であった一方、サラダ関連商材の「マヨネーズ」や「ドレッシング」は不調であった
- ・ 気温環境により、「嗜好品」や「スープ」、「カレー・シチュー」などのホット商材が好調であった
- ・ 「鍋つゆ」や「練製品」、「おでん」などの鍋関連商材は、好不調が分かれる結果となった
- ・ 健康ブームやメディアでの紹介により「納豆」の好調が続いている
- ・ インフルエンザが猛威を振るったが、「ヨーグルト」や「機能性ヨーグルト」は売上前年比実績において不調とのコメントが多く見られた

○ 「年始の営業開始日と営業時間」、「初売り」の状況について

- ・ 年始の営業開始日は、「2日から営業」が最も多く、次いで「元旦から営業」が多い結果であった。営業時間については、3が日については、開店時間を「後ろ倒し」、閉店時間を「前倒し」する企業が多かった
- ・ 初売りの状況については、「福袋」「福箱」や「商品券」を販売する企業が多く、その他では電子マネーの「プレミアムチャージ」や「駅弁」などの催事企画を実施する企業があった

○ 「受験生応援マーケット」の状況について

- ・ 受験生応援マーケットでは、合格祈願お菓子や夜食の簡便商品、ホット商材のほか、「ゲン担ぎ」のメニュー提案が多く見られた

以 上